

# 會 務

第十九卷第二號 昭和八年二月

## 定 時 總 會

昭和八年一月二十日午後五時より東京市麹町區丸ノ内三丁目四番地 帝國鐵道協會に於て 定時總會を開く。出席會員六十五名、名井會長議長席に着き開會を宣し別項の如き事業報告及收支決算報告に對し出席會員の承認を得たり。

### 昭和七年度事業報告

理 事	名 井 九 介
同	前 川 貫 一
同	大 河 戸 宗 治

昭和七年度事業の概要を左に報告す。

#### 一、 會 合

昭和七年一月十六日午後三時三十分より東京市麹町區丸ノ内三丁目四番地 帝國鐵道協會に於て定時總會を開く出席會員百六名にして會長那波光雄君議長席に着き事業及決算報告を爲し終て那波會長の講演ありたり。

同年十一月四日午後五時より同所に於て臨時總會を開き出席會員五百七十九名にして會長名井九介君議長席に着き本會定款及規則中一部改正を決議せり上記以外本年度中の會合は 役員會十二回講演會一回編輯委員會十三回なり。

#### 二、 役員改選及職員就任

定款第十一條に據り會長那波光雄君副會長眞島健三郎君常議員木津正治君同谷口三郎君 同橋本敬之君同平井喜久松君退任に付前項定時總會に於て改選を行ひ當選したる役員の氏名次の如し。

會 長	名 井 九 介君
副 會 長	大 河 戸 宗 治君
常 議 員	笈 斌 治君
同	木 村 芳 人君
同	來 島 良 亮君
同	三 浦 七 郎君

同年一月二十六日規則第二十五條に依り職員の推薦を行ひ次の通り就任せり。

主 事	丹 治 經 三君
同	牧 野 雅 樂 之 丞君
編輯委員長	草 間 倅君
編輯委員	井 上 隆 根君
同	岩 澤 忠 恭君
同	岡 田 實君
同	久 保 讓君
同	高 田 清君

同	高橋三郎君
同	藤井眞透君
同	宮本武之輔君
同	山口昇君

同年一月常議員木村芳人君地方に轉任に付定款第十二條に依り會員竹股一郎君を補選せり。

### 三、第二回工學會大會の開催

昭和七年四月五日より同九日の五日間に亘り日本工學會及本會外十一學會聯合主催にて第二回工學會大會を開催し上記の期間中總會に於て本會代表講演を並に土木部會として二日間に亘り講演會を開催せり。

### 四、委員會の設置並に各種委員會の経過

昭和七年九月維新以前日本土木史編纂委員會を設置し委員長に田邊朔郎氏外委員六十五名を依頼せり。其他コンクリート調査會、用語調査會、世界動力會議大堰堤委員會日本國內委員會、土木建築士法案調査會は引續き調査中なり。

### 五、會誌其他の發行

昭和七年度に於て土木學會誌第十八卷第一號より同第十二號迄十二冊及應用力學聯合大會講演集一冊並に會員名簿を發行せり。

### 六、登記並に申請事項

昭和七年一月十六日の定時總會に於ける理事の改選及資産の總額を金十五萬一千四百十二圓七十三錢也と變更の件は同年二月九日其の登記を了せり同年十一月四日の臨時總會に於て決議したる本會定款及規則一部變更認可申請の件は同年十一月二十六日主務大臣の認可ありたり。

### 七、土木賞牌の贈呈

土木學會誌第十七卷第十一號及同第十二號に登載せる會員工學博士三浦七郎君著「單鉸拱模型試験」及「單鉸拱振動に關する研究」と題する論文に對し昭和六年度第一土木賞牌を贈呈せり。

### 八、視察旅行

昭和七年四月二十八、二十九の兩日に亘り第十八回視察旅行として省線大阪驛改良工事、大阪市營地下鐵道工事並に大阪府下龜ノ瀨附近に於ける大地のり的情況視察を行ひ會員五十七名の参加ありたり。

### 九、關西支部事業の概要

本年度中關西支部に於ける會合は大會一回役員會五回座談會及晚餐會各三回通俗講演會一回土木工學研究會一回見學會一回なり。

### 十、會員數

昭和七年度中の入會者は會員十一名（内准員より轉じたる者四名）准員百六十四名（内學生員より轉じたる者六十三名）學生員八十九名合計二百六十四名にして退會者は會員五十一名准員七十三名學生員三十四名合計百二十五名死亡者は會員十六名准員六名學生員二名贊助員一名合計二十五名なり而して昭和七年十二月末日に於ける現在數は會員一千百十七名准員一千八百八十三名學生員百九十名贊助員二十名にして總計三千二百十名なり。

## 昭和七年度決算報告

理事 名 井 九 介  
同 前 川 貫 一  
同 大 河 戸 宗 治

## 收支計算

科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
収入の部					
會 費	36 052.96		小 計	47 015.25	
利 子 及 雜 收 入	9 593.29		前年度(六年度)繰越金	5 197.94	
入 會 金	1 049.00		合 計	52 213.19	
會 費 一 時 納 付 金	320.00				
支出の部					
事 務 費	16 495.45		支 部 交 付 金	1 500.00	
會 誌 費	20 334.52		基 金 編 入 金	320.00	
會 費	425.00	工業會々々費及第二回工学 會々々々費	小 計	46 177.23	
臨 時 費	1 726.84	大阪現調部委員會分擔金、 工業會々々々費、設備旅 行補助費、土木委員會 費等	後年度(八年度)へ繰越金	6 035.96	
調 査 會 費	5 375.42		合 計	52 213.19	

## 基金計算

収入の部					
前 年 度 繰 越 金	134 825.61		基 金 編 入 金	320.00	會費一時納付金
事 業 基 金 編 入 金	112.50		利 子 收 入	5 858.28	
			合 計	141 116.39	
支出の部					
經 常 費 に 組 入 金	3 095.30		合 計	141 116.39	
翌 年 度 へ 繰 越 金	138 021.09				
繰越金内譯					
後 年 度 へ 繰 越 金	6 035.96		合 計	144 057.05	
各 基 金 繰 越 高	138 021.09				
内 譯					
有 價 證 券	92 500.07	五分利公債額面 104 500円	當 座 預 金	4 349.36	
信 託 預 金	22 000.00		郵 便 貯 金	2 923.53	
定 期 預 金	14 500.00		振 替 貯 金	4 016.22	
特 別 當 座 預 金	3 629.57		現 金	138.30	

## 貸借對照表(昭和七年十二月三十一日現在)

貸 方(負債)		借 方(資産)	
古市 沖野	兩博士還曆記念基金 18 645.35	圖書及備品	4 271.06
故白石	博士記念基金 16 069.76	保證金	400.00
故山崎	博士記念基金 1 850.83	未収入金	4 292.29
廣井	博士土木賞牌基金 512.50	有價證券	92 500.07
原田	博士基金 3 291.45	信託預金	22 000.00
廣井	博士還曆記念基金 7 186.68	定期預金	14 500.00
故石黒	博士記念基金 7 116.46		
故近藤	虎五郎博士記念基金 4 577.87	特別當座預金	3 629.57
故阪田	貞明君記念基金 1 205.67	當座預金	4 349.36
故岡崎	博士記念基金 1 930.26	郵便貯金	2 933.53
		振替貯金	4 016.22
		現金	138.30
		合 計	153 020.40
		合 計	153 020.40

## 財 産 目 録

貸借對照表資産の部と同一に付省略す。

## 名 譽 會 員 推 薦

次で定款第五條に依り名譽會員の推薦を行ひ中川前會長より古市男爵を名譽會員に推薦のため下記の如き推薦趣旨を述べられたり。

古市男爵は我工科大学即ち今の工學部の創立者で又學長として多年在職されまして我高等工學教育の基礎を作られた人であります。又工學會の會長今日は理事長として永く同會の爲めに力を盡され先年萬國工業會議及び世界動力會議の際には老齢を厭はず非常に盡力されまして此の如き良好なる成績を得たのであります。又工手學校の創立に力を盡され永く管理長を勤められまして我邦工學の普及技術者の養成に貢献されて居ります。男爵は今日我工學界全體の元老又恩人として功績ある方であります。従て我土木學會のみが獨占すべき人ではないと考へますが専門が土木である爲め土木の方面に特に關係が深いのであります。其一斑を述べますれば男爵は明治十三年佛國留學より歸朝されまして直に内務省に入り土木事業に關係されました當時土木事業の計畫は殆んど外國人の手に委ねてありましたが其頃より漸次我技術者の手に移り始めて技術の獨立を見るに至りました。又明治二十一年に山縣内務大臣に隨行して歐洲諸國の土木事業を視察されまして歸朝後土木局長となり全國に土木監督署(始め六箇所後に七箇所)を配置して土木行政及土木事業施行の組織を定められました。此制度は今日は少し變つて居りますが我國土木行政の基礎は此時に始めて確立して土木事業も漸次秩序的に進歩發達したのであります。

後鐵道作業局長官として鐵道の事に關係され又日露戰役の時には京釜鐵道會社總裁として其鐵道の速成に力を盡され國家非常時に軍事上に後顧の憂なく多大の貢獻をされました。其他我國の土木事業の大問題に對しては或は調査員として或は顧問又貴族院議員として大概關係されて居りまして我國今日土木事業の進歩發達は男爵に負ふことの極めて多大なるものがあると信ずるのであります。又土木學會と致しましては其創立者であり又第一回の會長として力を盡され其後も前會長として常に我々は御指導を仰いで居る次第であります。殊に本會創立の際巨額の還歴記念醜金全部を本會に寄附されまして本會今日の發展の基をなして居ります。即ち男爵は我土木界に於ても亦一大恩人であります。

男爵は本年八十の高齡に達せられまして數日前宮中杖を許されました。又御夫婦共長命で本年が結婚滿五十箇年即ち金婚式に當つて居りまして御目出度いことが重つて居ります。工學會に於ては十二學會が聯合致しまして今春適當な時期に祝賀會を開く計畫がありますが我が土木學會に於きましても兼て此機會に於て男爵の功績に對して謝意を表したいと考へて居りました處幸ひ昨年十一月定款一部が改正されまして名譽會員が設けらるゝことになりましたので役員會に於て男爵を第一回の名譽會員に推薦の議が出まして全員の贊同を得て本日の定時總會に提出した次第であります。斯様な趣旨でありますから何卒定款第五條によりまして全員一致を以て推舉の御決議を願ひ度いと考へます。

上記の演説終り全員一致を以て古市男爵を名譽會員に推舉せり。

### 役員改選

次で役員の改選を行ひ議長の指令せる開票立會人樺島正義君、春木節郎君、江澤甚一君により投票の開票を爲したり。其結果は下記の如し

會 長	二百六十八票 (當選)	眞 田 秀 吉君
	九票 (次點)	丹 羽 鋤 彦君
副會長	二百五十二票 (當選)	米 元 晋 一君
	八票 (次點)	眞 田 秀 吉君
常 議 員	二百五十八票 (當選)	田 中 豐君
	二百五十八票 (同)	山 口 昇君
	二百四十五票 (〃)	田 邊 良 忠君
	二百三十七票 (〃)	池 原 英 治君
	二百三十七票 (〃)	黒 田 武 定君
	二百三十二票 (〃)	神 原 信 一 郎君
	二百三十一票 (〃)	衣 斐 清 香君
	二百三十票 (〃)	内 海 清 溫君
	三十票 (次點)	那 須 章 彌君
	十四票 (〃)	佐 藤 利 恭君
	十三票 (〃)	米 元 晋 一君
	十三票 (〃)	金 森 誠 之君
	十三票 (〃)	鈴 木 雅 次君
	十三票 (〃)	宮 本 武 之 輔君

上記役員改選開票中に會長講演(別項)あり。同講演終了後開票の結果を發表し午後六時三十五分閉會せり。引續き有志晚餐會を開催し出席會員四十四名にして午後八時半盛會裡に散會せり。

---

 役 員 會
 

---

開催日 昭和八年一月十三日於事務所

出席者 名井會長 前川、大河戸兩副會長、中川前會長、笈、來島、生野、田井、竹股及三浦常議員、丹治、牧野兩主事、草間編輯委員長

決議事項下記の通り

1. 昭和七年度事業報告を承認すること。
2. 同 決算報告を承認すること。
3. 同 關西支部事業及決算報告を承認すること。
4. 昭和八年度關西支部豫算を承認すること。
5. 朝枝敏之君外七名を准員として入會の件を承認すること。
6. 會員新井九郎君外六名、准員井上善助君外十二名の退會を許可すること。

---

 臨 時 役 員 會
 

---

一月二十日の定時總會の後を受け例年の如く續いて臨時役員會が二十七日に開催せられた。

總會後の臨時役員會は新舊理事、新舊役員の顔合せ事務引繼等の意味を多分に盛つて開かれ、其の議案も學會の組織の上に於ける形式上重要な案件はあるが、例年其の内容は極く平凡なもので概ね會長並に兩主事の議事進行方針に従て坦々と和やかな氣持に終るを常とした。

然るに今回の役員會はさう簡單ではなかつた。

會の發展に、活動に常に關心を持つ多くの會員は此兩三年來何とはなしに醸成されて來た會組織に關する陰鬱なる雰圍氣を感ぜざるを得なかつたであらう。此度の現象は正に其の表面化されたものと見られ、會の最も重大なる變化、最も有意義な時代的變化が豫想されるのである。

然し懸つて去る總會に於て選出されたる新役員の顔ぶれを見ても舊套を脱したる觀あり、之が既に其の發端で多數會員の會に對する希望は此の新人の選出に依つてつながらるべく、事茲に至るは正に當然の事ではあるまいか。

當日役員會は丸の内海上ビル中央亭に於て午後五時より開かれ出席者は

前 會 長	那 波 光 雄君	名 井 九 介君
新 會 長	眞 田 秀 吉君	
副 會 長	大 河 戸 宗 治君(留任)	米 元 晋 一君(新任)
前 常 議 員	平 井 喜 久 松君	田 井 九 一君
現 常 議 員	來 島 良 亮君(留任)	竹 股 一 郎君(留任)
	三 浦 七 郎君(留任)	池 原 英 治君(新任)
	黒 田 武 定君(新任)	田 邊 良 忠君(新任)
	山 口 昇君(新任)	神 原 信 一 郎君(新任)
	内 海 清 溫君(新任)	衣 斐 清 香君(新任)
主 事	丹 治 經 三君	牧 野 雅 樂 之 丞君
編 輯 委 員 長	草 間 偉君	

の二十名、議案は次の三件

- 一、職員推選に関する件
- 二、昭和七年度優良論文に関する件
- 三、入退會の件

であつた。

會は眞田新會長の謙讓なる御挨拶に始まり、議長席に就かれ、續いて新役員の自己紹介あり。型の如く前回役員會の議事録が読み上げられ、議事に入る。

先づ職員推選に関する件——毎年最初の役員會に於て庶務、會計兩主事、編輯委員長並に編輯委員を推選することになつてゐるが概ね會長の提示する案が満場一致可決せられるのが例であつた。

會長は其の例に漏れず、先づ主事丹治經三君の辭任と其の後任に平井喜久松君を推選すること並に會計主事牧野雅樂之丞君及編輯委員長草間偉君の重任を提案され、續いて編輯委員山口昇君(常議員に就任)、井上隆根君、岡田實君、藤井眞透君の辭任と後任關信雄君、沼田政矩君、中原壽一郎君、青木楠男君を推選、残りの現委員高橋三郎君、宮本武之輔君、高田清君、岩澤忠恭君、久保義君の重任を提案され、役員の評否を諮つた。而して之に異議あるべくも見えざりし所、突然發言を求めたのは新役員山口昇君である。嚴肅なる面相にて同君は會長の案に關聯して意見を述べ始めた。

正に土木學會創設以來の出來事で、最も緊張したる數分を経過した。其の内容を詳細傳へる事は紙面も許さぬから差控へるが要は主事を直接中央執行機關とせる學會事務の運行方法の否定である。そして今日の推選も一應と止め其の方針確立の上其の方法に依つて執行機關を決定すべきことを切言されたのである。

之は重大なる議事進行に關する發言であるが、會長が現行の規定に従つて役員推選の評否を求められた此の場合稍々無理の觀があつた。にも拘らず之に對して贊意を表する空氣は充分にうかゞはれた。夫等の諸意見を要約するに(一)現在常議員が餘りに仕事をしな過ぎる事。(二)従つて主事の仕事は過大となり片手前間に主事を命ぜらるる有能なる會員——多くはさう云ふ人は多忙なる本務にたづさはれる會員であるが——もお氣の毒である。(三)斯の如くして土木學會は貧弱なる會誌を發行する以外に地方の大多數會員には何等益するところなく、十八圓十二圓の會費を負擔して會員たる事に甘んじて居られなくなつてゐる、今でも義理に縛られてゐる者が少なくない、之以上放置せば會員は減少するのみであらう。(四)之が打開策としては常議員の専務分擔の方法、常任執行機關の設置、主事の人選方法の變更、其の他各種の案が群出した。そして議事は停滯の狀態に陥つた。

改めて加へて置くが之等の論は新主事に擬せられたる平井喜久松君を忌避する事を意味するものでは斷じてない。其處に微妙なる空氣が漂つたかとも思はれたが、出席せられたる平井君からは「僕はやらなくともよければ其の方が有難い」と云ふ様なユーモアも出た。

然し此の渾沌たる論議は明かに議事からは脱線しかかつてゐるのである。之を元に還す爲めに採られた會長並に大河戸副會長の處置は最も適切なものであつた。即ち之は現行規定による職員推選とは全然別個に取扱はるべく、一先づ此の議事は之として進行せしめ、此處に議事一項を挿入せんと云ふのである。之にて山口君の發言にスタートしたる論戰前に立返り、會長の提案通り職員推選は其の儘満場一致可決。續いて然らば如何なる方法に依りて會の組織改良と發展の助長をなすべきかの問題に及んだ。

或は引續き其方法を審議すべしと主張し、又別個に委員會を設置すべしと主張する者もあつたが、結局議事第二とし「土木學會振興に關する委員會設置の件」を加へる事となり、其の内容の詳細は既掲の議事終了後そして食後

再開の上協議を繼續する事となつた。

此委員會の名稱に就てもかなりの意見が出た。曰く事業委員會、曰く更生委員會、曰く振興委員會等々。之等に對し餘りに尖端的なりと云ひ又從來餘りに沈滞せる事と思はせるのは不可と云ふ者あり、之に對しては事實沈滞せりと駁する者あり、結局「土木學會振興に關する委員會」と假りに定められた。

以て此の役員會が如何なる狀況なりしかを察するに足ると思はれる。

次に議事第三昭和七年度優良論文に關する件。之は毎年編輯委員長より委員會に其の候補論文を提示し、會長は之を役員會に諮つて決定する形式を採る。草間委員長は第十八卷第十號所載鶴見一之君の論文「沈降速度の理論及實驗」を最も優秀なるものと認める旨を述べられ、其の内容の梗概、特長、其の他之を推薦する理由を説明し、贊成を求めたが、之に對しては何等異議なく決定す。唯トピックとして傳ふべきは此の優良論文に贈呈せらるゝ故廣井勇先生よりの第一土木賞牌の事である。此の賞牌は直徑約六匁、厚一匁弱の銀牌で表面には先生御自身の考案に成る防波堤、水電のペンストック、鐵道橋、三角定規等の土木工學を表現する彫刻があり、裏面には贈呈さるゝ當該論文の掲載卷號數及著者名等が刻られるのであるが、其の表面の圖案を故先生の面影を浮出したものにしてはと云ふ名案が出た、之に就ては大分贊成もあつたが尙編輯委員會に於て審議する事とし、此の議事を終る。

次に議事第四として故坂本雅雄君の遺族坂本雄吉氏よりの寄附申出を受領する件を上提す。

坂本君は大正十四年東京帝國大學工學部出身の有爲の青年技術家であつた。學窓を出て復興局に入り更に鐵道省に轉じ、銳意技術の練磨と工學の研究に努め、省内に於ても最も將來を囑望された技術家の一人であつたと聞く。卅歳を越えて未だ幾許もならず既に君の努力になるものは隅田川永代橋の基礎工事、鐵道省木曾川架橋工事、川崎の發電所基礎工事、最近に於ては省線お茶ノ水・兩國間の高架線の工事等を數ふべく其の間特にコンクリートの研究に就ては造詣深かつたと云はれてゐる。

何れも同君に弔意を表し此の寄附金を同君記念基金として基金に繰入るゝ事を定めて此の議事を終る。

次に會、准員入退會の件は提案通り議了。

稀に見る長い複雑な役員會は之にて一應終り、食事となつたが、尙振興に關する委員會の餘盛は食卓の上に殘つてゐた。そして短時間のデザートコースは更に同委員會設置の件へと議事を續けた。然し再開後は急激に進展して直ちに委員の選任となり、大河戸宗治君を委員長として次の如き十四名の委員が選ばれた。此の人數に就ても僅かの討論はあつたが問題とするに足らぬと思はれる。此の選任は現常議員より六名(之は常議員の半數に相當する)編輯委員より二名、其の他會員より六名となす事を方針として進められたのである。

#### 土木學會振興に關する委員會委員

委員長	大河戸宗治君		
委員	池原英治君	黒田武定君	
	山口昇君	内海清温君	
	來島良亮君	三浦七郎君	
	宮本武之輔君	平山復二郎君	
	萩原俊一君	大島滿一君	
	森田三郎君	沼田政矩君	
	稻葉權兵衛君	藏重長男君	

委員會設置の上は此の席に於て内容を審議する必要はなくなつたが、種々之に關する希望意見が述べられた。



沛然たる豪雨の後に仰く青天の感と云はんか、それは朗かなる談笑となり、希望に満ちたる青年土木學會の颯爽たる姿を見出した。既に九時を過ぎスチームは數時間前に抜き去られ、部屋の中は次第に寒冷を覚え、老大家方々には寔にお氣の毒にも思はれたが遂に誰も忘れてゐたのである。

話は尙盡くるを知らぬ様子であつたがビルディングの門限も約二三分と云ふ所で閉會となる。

委員會に對する希望意見等尙心残りの事はあるが夫等は寧ろ同委員會の記事に譲るべきものと信ずる。

## 振 興 委 員 會

土會學會の不振を聴くや久しいことである。今にして之を改革するに非ずんば益衰退を迎るのみで、遂には壊滅の悲運に到達するのも餘り遠き將來ではあるまい。現に會員數は創立當時と大差なく十三萬餘圓の基金を擁しながら之と言ふ限立つた事業を起すでもなく、會員相互の利益殊に地方會員の便益を圖つた事もなく、僅かに土木學會誌に依つて其の命脈を保つてゐるに過ぎない現状は、果して土木學會の使命であらうか。昭和七年度の役員會に於ても、又地方會員上京の機を利用しての會合の席上でも、常に學會改革の聲は置しかつたが不幸にして實現の機を得なかつた。

本年は役員も從來に比べて若くなつた、土木學會の役員は名譽職なりとの觀念は見事に打破されて、最も働き盛りの人々が選舉された事實は、多數の會員が土木學會を何とか改造せなければならぬと云ふ意志の現れと看ても差支あるまい。幸にして一月二十七日の臨時役員會に於て其の意見が出たので直ちに振興委員會を組織し約二ヶ月位で根本的改革方針を樹てることゝなつた。

最初は二月三日に、夫より十四日、二十二日と三回に涉り會合を催して次の意見を纏めたが、之は單に綱領だけで其の細目に互る案は尙今後の委員會で協議することになつてゐる。一部の地方會員から色々の希望が來てゐるが尙廣い範圍の改革意見を徴することゝなり、會長から各會員に依頼狀を差出したから其の回答を俟つて、委員會の案に追加することになるだらう。

### 一、役員の方擔を定むる件

學會の盛衰は一に役員的活動如何に關るから、役員の方擔事務を決定して活動に便ならしめ、又一面全責任を負はしめて學會の繁榮を圖らんとするものである。

第一部 庶務、會計	(役員二人)
第二部 鐵 道	( 同 )
第三部 河川、港灣、水力	( 同 )
第四部 道路、都市計畫	( 同 )
第五部 上水、下水	( 同 )
第六部 構造、應用力學	( 同 )

### 二、専任主事任命の件

學會不振の最大原因は夜間勤務の事務員ばかりで、會の中樞となるべき主事だに居なかつたと云ふことであらう、故に晝間勤務に改めて専任主事及事務員を任命し、編輯事務の如きものゝみ夜間に行ふ主旨である。

### 三、會費遞減の件

	第一案	第二案
會 員	十二圓	九圓
准 員	九圓	七圓五十錢
學 生 員	六圓	六圓

會費の高いことが何時も非難の的となつてゐるから、之を第一案か第二案の様に減額しやうと云ふ案である。會費は會員及准員數に反比例して遞下することが出来るが、此の二案の内何れを採擇するかは一に將來の會員増加率に依つて定まるだらう。

四、會員に法人を認むる件

五、用語調査會促進の件

鐵筋コンクリート調査會は既に其の事業を完了して、報告書を公布したが、同時に始めた用語調査會の方は勿論範圍の廣い困難な事業ではあるが、原案の提出なき者もある位で余に遅々として進行しないから、本年五月一杯位に大體完了することに促進する。

六、示方書制定の件

プレーンコンクリート、道路舗裝、鋼橋等に關する示方書を制定する。

七、各學會及協會との連絡を固める件

八、特許局審査官に土木技術官任用を建議する件

九、職業紹介の件

十、相談部（學術、質疑其他）設置の件

十一、土木士法案提出促進の件

十二、土木學會會議室利用の件

十三、出版事業經營に關する件

十四、支部設置の件

十五、土木學會誌の内容改善の件

十六、學術調査會設置の件

十七、標準契約書制定の件

十八、各地に於て講習會、座談會、討論會、映畫會等開催の件

十九、農業土木、森林土木技術官を本會々員に推選の件

二十、土木行政統一の件

二十一、事業資金募集の件

二十二、エンジニアリング・エシックス制定の件

## 編 輯 委 員 會

第十二回編輯委員會（昭和七年度）

開 催 日 昭和七年十二月十九日

出 席 者 草間編輯委員長 宮本、高橋、山口、岩澤、藤井、高田、井上の各委員、菊池囑託

協議事項下記の如し

1. 第十八卷第十一號登載の鶴見一之君、堀越一三君及御厨忠文君著の論文に對し討議依頼先決定す。
2. 第十九卷第二號登載論文として論説報告二、討議二、參考資料四件を決定し第十九卷第三號登載論文一件を暫定せり。
3. 昭和七年度優秀論文候補として六著者七論文を撰擇し更に次回委員會に於て一著者一論文を撰擇推薦する方針の下に各委員に於て審査することに決す。

#### 第一回編輯委員會（昭和八年度）

開催日 昭和八年一月十六日

出席者 草間委員長 高橋、宮本、藤井、山口、高田、岡田、久保の各委員、菊池囑託

協議事項

1. 第十八卷第十二號所載の茂庭忠次郎外二君、石井頼一郎及堀越一三君著の論文に對し討議依頼先決定す。
2. 第十九卷第三號登載論文を下記の通り決定す。

#### 論説報告

土壓計算の一考察

會員 工學士 田 村 義 正

軸方向力を受くる鐵筋コンクリート部材に於ける應力の分布に

關する二三の理論的問題に就て

會員 工學博士 福 田 武 雄

#### 討 議

Versuche zur Bestimmung der gleichförmig fließenden  
Bewegung des Wassers und Herleitung einer allgemeinen  
Geschwindigkeitsformel für natürliche Wasserläufe

Noboru Mizoe, Mitglied.

#### 參考資料

一次不靜定結構の安全率に就て

(福 田 武 雄 譯)

道床砂利の機械的篩分法

(星 野 陽 一 譯)

3. 昭和七年度第一土木賞牌を贈呈すべき優秀論文は前回に於て撰擇せる 6 著者、7 論文中次の論文を推薦し、役員會に報告することに決定す。

第十八卷第十號所載

沈降速度の理論及實驗

會員 工學博士 鶴 見 一 之 著

## 土木學會關西支部記事

### 土木學會關西支部役員の改選

昭和八年一月二十八日第六回大會に於て昭和八年度支部長並に商議員半數改選の結果本年度支部役員及職員下記の如し。

支 部 長 (新任)

岩 田 成 實君

商 議 員 (新任)

島 崎 孝 彦君

同 ( " )

平 瀬 三 雄君

同	(〃)	齋 藤 飾君
同	(〃)	三 浦 矩 明君
同	(〃)	大 木 外 次 郎 君
同	(〃)	柴 田 辰 之 進君
同	(留任)	岡 部 三 郎君
同	(〃)	武 居 高 四 郎君
同	(〃)	中 村 與 一 郎君
同	(〃)	内 山 新 之 助君
同	(〃)	上 井 兼 吉君
同	(〃)	木 村 喬君
幹 事 長		近 藤 博 夫君
庶 務 幹 事		鈴 木 義 一君
會 計 幹 事		高 橋 末 治 郎君

### 其 他 記 事

○同年十二月十八日土木學會誌 第十八卷第十一號，同月二十三日同 第十二號發行成規の手續を了し各其の翌日各會員に配布せり。

○同年十二月十六日以降昭和八年一月十五日迄に於て入會の手續を了し名簿に登録したる者下記の通り。

#### 會 員

山 内 壽 夫君

#### 准 員

○大谷新太郎君	○松本光夫君	○金光稔君	○石田武雄君
大島誠知君	岡本舜三君	加藤正司君	鴨打秀利君
齋藤六君	鳴原長太郎君	鈴木倫虎君	田中師郎君
橋本悦郎君	半田茂穂君	福田寶君	吉田次三郎君
朝枝敏之君			

#### 學 生 員

安孫子享一君	森文雄君	新井義輔君	小川新市君
小俣弘通君	金谷明君	川村滿雄君	宗宮義正君
田坂榮美君	田村信義君	竹中徳君	十倉清五郎君
内藤録郎君	福岡慶一君	牧野茂君	南武男君

○下記諸君は退會せられたり。

#### 會 員

新井九郎君	石黒弘毅君	負他倍造君	相良守君
島田貫一君	星野信之君	三浦慶次君	

## 准 員

井上善助君	大津敏春君	木村小市君	爲田不二君
廣澤範敏君	松本進君	村山平之助君	三島武君
吉田稔君	吉松群七君	松本三仲君	

○昭和七年十二月十六日以降昭和八年一月十五日迄に於て寄贈交換を受けたる雜誌其他下記の通り。

帝國鐵道協會會報第 33 卷第 12 號	帝國鐵道協會
セメント工業一月號	セメント工業社
土木建築雜誌第 12 卷第 1 號	シビル社
地震研究所彙報第 10 號第 4 冊	東京帝國大學地震研究所
地震觀測報告昭和七年第一冊及第二冊	同上
水道協會雜誌第 2 號	水道協會
三菱電機第 8 卷第 8 號	三菱電機株式會社
港灣第 11 卷第 1 號	港灣協會
工事畫報新年號	工事畫報社
鐵と鋼第 18 年第 12 號	日本鐵鋼協會
日本工學報第 8 號	學術研究會議
生産管理新年號	生産管理社
日本建築士第 11 卷第 6 卷	日本建築士會
建築と社會新年號	日本建築協會
鑄物第 4 卷第 12 號	日本鑄物協會
工學院同窓會誌	工學院同窓會
機械學會誌第 36 卷第 89 號	機械學會
セメント界彙報第 298 號	日本ポルトランドセメント同業會
工業化學雜誌第 36 篇第 1 冊及同歐文綴	工業化學會
生産管理 2 月號	生産管理社
工業現勢第 2 卷第 2 號	東京工業大學工業經濟調查部
日立機械評論第 11 號	日立評論社
セメント工業 2 月號	セメント工業社
工學院同窓會誌第 35 卷第 2 號	工學院同窓會
日本建築士第 12 卷第 1 號	日本築士會
土木建築雜誌第 12 卷第 2 號	シビル社
業務研究資料第 21 卷第 1 號及第 2 號	鐵道大臣官房研究所
日本鑛業會誌第 49 卷第 573 號	日本鑛業協會
鑄物第 5 卷第 1 號	日本鑄物協會
東北帝國大學工學報告第 10 卷第 4 號	東北帝國大學
會務彙報第 14 號	日本土木建築請負業者聯合會

工事の友第 4 輯第 6 號

造船協會雜纂第 129 號

東京土木建築業組合報第 6 卷第 1 號

衛生工業協會誌第 7 卷第 1 號

東京工業大學學報第 2 卷第 1 號

朝鮮土木研究會

造船協會

東京土木建築業組合

衛生工業協會

東京工業大學

會 員 濱野彌四郎君は昭和七年十二月，同齋藤英夫君及同勝呂正吾君は昭和八年一月，同南部常次郎君は同年二月逝去せられたり，本會は弔詞を靈前に呈し哀悼の意を表したり。

准 員 淺見鶴惠知君，同坂本雅君は逝去せられたる旨本年一月通知に接したり，本會は謹で哀悼の意を表す。

## 寄稿に関する注意事項

- (1) 御寄稿は成るべく本會の原稿用紙を用ひ横書きとすること、原稿用紙は御請求次第送附す。
  - (2) 御寄稿は止むを得ざる場合の外は成るべく本會の原稿用紙 120 枚（本會誌 30 頁）程度とされし、若し前記頁數を超過する場合は適宜其の程度に縮少を御願ひすることもあるべし。
  - (3) 假名は平假名とし、數字はなるべくアラビア文字を用ひられたし。
  - (4) 歐字は特に明瞭に認むること。  
n と u, u と v, r と v, a と α, r と γ  
其の他頭字と小字とを判然たらしむる事。
  - (5) 原稿には必ず冒頭に英文表題及内容梗概を添附されたし。
  - (6) 附圖附表に就ては次の各項に御注意ありたし。
    - (イ) 圖面はその儘縮寫し得る様にトレーシング・ペーパー、オイル・ペーパー、トレーシング・クロス等とす。
    - (ロ) 凡て墨色を用ひインキ類或は彩色を施さざる事。
    - (ハ) 方眼紙は青罫のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にて之を描き置かれたし。
  - (ニ) 圖表中の文字、數字は特に大きく肉木に書し縮寫したる後明瞭たらしむる事。
  - (ホ) 圖表類は製版の都合上可なり汚損するものと豫め御含み下されたし。
- (7) 寫眞は特に明瞭なるものを送られたし。
- (8) 講演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 20 部を寄稿者に贈呈するものとし、尙寄稿者の希望に依り實費にて御要求に應ずる事あるべし。  
算式其の他の記し方大體標準。
- (1) 本文、文字間に算式を挿入する場合には次の如く記すこと。 $a/b$  と書き  $\frac{a}{b}$  を避けること。 $(a+b)/(c+d)$  と書き  $\frac{a+b}{c+d}$  を避けること。
- (2) 獨立したる列に算式を記す場合は次の如く記すこと。 $\frac{1}{3}x$  と書き  $\frac{x}{3}$  を避けること。 $\frac{1}{2}(a+b)$  と書き  $\frac{a+b}{2}$  を避けること。 $\frac{a}{b+c/d}$  と書き  $\frac{a}{b+c\frac{1}{d}}$  を避けること。
- (3) 千以上の數字は 53 247 000 の如く 3 つ單位に間隔をあけること。
- (4) 名數は次の如く記し括弧の中の様を書くことを避くること。  
83.4 尺（八丈三尺四寸）、7 吋（七吋）、35 錢（三十五錢）、13.56 圓（十三圓五十六錢）、1~4 時間（一乃至四時間）、88 326 噸（八萬八千三百二十六噸）、1931 年 1 月 1 日（千九百三十一年一月一日）。

## 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合是一部に付下記金額振替口座東京一六八二八番に拂込み用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

### 残 部 内 譯

第五卷一號二號	一部	金壹圓	圓
第六卷六號	同	金壹圓	圓
第七卷二號三號四號	同	金壹圓	圓
第八卷一號	同	金壹圓	圓
第九卷一號二號三號五號六號	同	金壹圓	圓
第十卷二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
第十一卷二號	同	金壹圓	圓
第十二卷二號三號五號六號	同	金壹圓	圓
第十三卷二號三號六號	同	金壹圓	圓
第十四卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
第十五卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同	金壹圓	圓
第十六卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同	金壹圓	圓
第十七卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓
同 七號八號九號十一號十二號	同	金壹圓	圓
第十八卷三號四號五號	同	金壹圓	圓
同 六號七號八號九號十號十一號	同	金壹圓	圓
第十九卷一號	同	金壹圓	圓
東京市内外交通に関する調査書	同	金拾八圓	圓
震害調査報告書(一、二、三)	同	金拾八圓	圓
土木工事寫眞集	同	金拾八圓	圓
應用力學聯合大會講演集	同	金壹圓	圓

### 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なるときは會誌の配布を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等に御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

### 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相類度

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月至四月 第一期分二月徴收	自五月至八月 第二期分六月徴收	自九月至十二月 第三期分十月徴收
會 員	金拾八圓	金六圓	金六圓	金六圓
准 員	金拾貳圓	金四圓	金四圓	金四圓
學 生 員	金七圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

### 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して故なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

### 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年毎月十五日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべきに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月経過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配布不可能のことあるべきに付御留意相成たし





真田秀吉

會長  
工學博士  
真田秀吉



大河戸宗治

副會長  
工學博士  
大河戸宗治



米元晋一

副會長  
工學士  
米元晋一

正 誤 表

STUDIES ON PHOTO-ELASTICITY.

土木學會誌 第十九卷 第一號 (昭和八年一月)

Page	Line	Misprint	Correct
1	"Chapter I "	in phenolites	in phenolite
4	19	It $\lambda$ is	If $\lambda$ is
14	28	result Coker	result of Coker
18	10	$[\widehat{\alpha\alpha}]_{\alpha=1}$	$[\widehat{\alpha\alpha}]_{\alpha=0}$
21	8	by the pressure	by the procedure
27	24	from the	from the
"	26	theory is	theory is
30	8	$\text{Sin} \frac{n\pi x}{b}$	$\text{Sinh} \frac{n\pi x}{b}$
31	17	$\Sigma B_1$	$\Sigma B_n$
32	11	$\Sigma C_s Z$	$\Sigma C_s Z$

# 會 告

## 日本工學會用語統一調查委員會 第一次決定用語

(其三 B の部)

## 日本工學會用語統一調査委員會第一次決定用語

日本工學會用語統一調査委員會に於て第一讀會を通過したる第一次決定用語は次の如し。

### 其三 B の部

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
1	babbit metal	ゴウキン バビット合金		22	backward stroke	コウシンコウタイ 後進行程	ピストン
2	baby bessemer converter	コガタデンロ 小形転炉		23	back water	ハイスイ 背水	
3	back			24	back wiring	ハイメンフセン 背面布線	
4	back-airing or venting			25	backing		
5	back board	ハイメンバン 背面板 (電)		26	bacteria	サイキン 細菌	
6	back connection	ハイメンセツゾク 背面接続		27	bacteria bed	サイキンシヨウ 細菌床	
7	back contact	ウシロセツテン 後接点 (電)		28	bad conductor	フリヨウドウタイ 不良導體	
8	back electromotive force	ギョクキデンリョク 逆起電力		29	barrier		
9	back filling			30	barrier board	イタ ソラセ板	
10	back fire	サカビ 逆火		31	barrier plate		
11	back firing			32	bag		
12	back header	ウシロクダマセ 後管寄		33	baggage car	ニモツシヤ 荷物車	
13	back house			34	baggage room		
14	back lash	ガタ	弦, 削除	35	bailler		
15	back plate	ハネヨケ板, ウシロ板	イタ 弦, 機削除	36	bakelite	ベークライト	
16	back pressure	ハイアツ 背圧		37	baking	カンソウ 乾燥	drying
17	back pressure turbine	ハイアツ 背圧タービン		38	baking varnish	ヤキツケ 焼付ワニス	
18	back pressure valve	ハイアツバン 背圧弁		39	balance	ハカロヘイコウ 秤平衡 (電)	
19	back sight	ウシロ 後視		40	balance	ヘイコウセリン 平衡線論	
20	back stair			41	balance cylinder	ツリアイキトウ 釣合気筒	筒へ傾り
21	back stay			42	balance dynamometer	ツリアイドウリョクケイ 釣合動力計	
				43	balance piston	ツリアイ 釣合ピストン	
				44	balance sheet		

番號	原 語	決 定	備 考	番號	原 語	決 定	備 考
45	balance weight	ツリアイオホリ 鈞合鍾	counter weight	75	ballistics	ダンドウガク 彈道學	
46	balanced			76	ballistic throw	ダンドウトウテイ 彈道投程	
47	balanced circuit			77	balloon	キキユウ 氣球	
48	balanced load			78	baluster	テスリロ 手摺子	
49	balanced relay			79	balustrade	テスリ 手摺	句讀へ別トスル
50	balanced rudder	ツリアイカジ 鈞合舵		80	band	ダイイキ 帶域	電以外ハ削除ス
51	balancing	ツリアイヘイコウ 鈞合平衡(電)		81	band brake	ナビ 帶ブレーキ	
52	balancing aerial		種別, aerial ニツイテ	82	band elimination filter	ダイイキシヨウキヨロ ハキ 帶域消去濾波器	
53	balancing capacity	ヘイコウヨウリョウ 平衡容量		83	band fuse	ナビ 帶フューズ	
54	balancing condenser	ヘイコウチクデンキ 平衡蓄電器		84	band of frequency	シユウハダイ 周波帶	
55	balancing machine	ツリアイシケンキ 鈞合試験機		85	band pass filter	ダイイキヨロ ハキ 帶域濾波器	
56	balancing net-work	ヘイコウケツセンモウ 平衡結線網		86	band saw	ナビノコ 帶鋸	
57	balancing rheostat	ヘイコウカゲンテイコウキ 平衡加減抵抗器		87	band spectrum	ナビ 帶スペクトル	
58	balcony	バルコニ		88	band wheel		
59	ball			89	banded structure	シマジヨウソシキ 縞狀組織	
60	ball and socket coupling	タマツキテ	ball joint = 全ジ	90	bank	バンク(電)	電以外ハ削除ス
61	ball and socket joint	球接手		91	bank contact	セツテン バンク接點	
62	ball bearing	タマイレツクウケ 球入輪受		92	banking		
63	ball cartridge	ジツボウ 霰包		93	bar	バー バー	「バー」以外ハ 削除ス
64	ball hydrant	タマベンシヨウカセン 球弁消火栓		94	bar bender	ボウマダキ 棒曲器	
65	ball insulator	タマガイシ 球礫子		95	bar cutter	ボウキリキ 棒切器	
66	ball joint		{ ball and socket joint = 全ジ	95	bar cutting machine	ボウキリキカイ 棒切機械	
67	ball mill	ボール ミル		96	bar iron	ボウテツ 棒鐵	
68	ball thrust bearing		応力受斥器	97	bar magnet	ボウツシヤク 棒磁石	
69	ball valve	タマベン 球弁		97	magnet	ジシヤク 磁石	
70	ballast	バラスト	(誘導, 砂, 安 全, 塩, 洗等ハ別)	98	bar shear	ボークウ 棒鋸	
71	ballast tank	バラスト タンク		99	bar steel	ボークウ 棒鋼	鋼鐵ハ再考ノ コト
72	ballistic	ダンドウ 彈動		100	bare conductor	ハゲカドウダイ 裸導体	
73	ballast tube	バラスト管	カンアンベンテイコウカン 安全抵抗管	101	bare wire	ハゲカセン 裸線	
74	ballistic gylvano- meter	ダンドウケンリユウケイ 彈動檢流計		102	barge	ハシケ 駁	

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
103	barge board	ハフウダルクキガタ 破風, 極形		133	basic steel	エンキセイコウ 塩基性鋼	
104	barge course	ソバノキ 傍軒		134	basin		
105	barium	バリウム		135	basket coil	カゴガダセンリン 籠形線輪	
106	barke			136	bat		
107	barn			137	bates steel pole	ベーツ鋼柱 コウチユウ	
108	barnacle			138	bath		
109	barometer	キアツケイ 気圧計		139	bath house		
110	barometric height			140	bath room	ヨクシツ 浴室	電燈室併除
111	barrack			141	bath tub	ヨクソウ 浴槽	{ 船, bath へ浴槽 { bath tub へ上り蓋
112	burrel			142	batten	シナイ定規 ジヨウキ	
113	barreter	バレッター		143	batter board	ヤリカダ 遣形 ヤリカダヌキ 遣形貫 ヤリカダクヒ 遣形杭	
114	barrier			144	battery	デンチ 電池	他へ併除ス
115	barrow	イチリンシヤ 一輪車		145	battery eliminator	デンチ 電池エリミネーター	
116	basalt	ゲンブガン 玄武岩		146	battery jar	デンビンデンチソウ 電瓶, 電池槽	
117	base	エンキクチガネ 塩基口金	他へ併除	147	battery supply loss	デンリユウキヨウキユウソン 電流供給損	
118	base course	ネツミ 根礎		148	battle ship		
119	base filament	モトセンジヨウ 基線 條		149	Baume's hydro- meter	ボーム比重計 ヒジュウケイ	
120	base line	キヤン 基線		150	battlement		
121	base load			151	bauxite	ボーキサイト	{ 理科地質學會へ { 相談スルコト
122	base plate		{ 原々欄 5/15 { basing plate	152	bay		{ 年, 別, 土, 商, { 別
123	basement	チカカイ 地下階, 地階		153	bay window	デマド 出窓	{ oriel window { ニ全ジ
124	basic			154	bayonet base	サンコミクチガネ 挿込口金	
125	basic bessemer converter	エンキセイテンロ 塩基性転炉		155	B battery	デンチ B 電池	
126	basic brick	エンキセイレンガ 塩基性煉瓦		156	"B" board	ダイチウケイダイ B 臺, 中繼臺	
127	basicity	エンキド 塩基度		157	beacon	リツビョウ 立標	
128	basic lining			158	beacon light		
129	basic open hearth furnace	エンキセイヘイロ 塩基性平爐		159	bead	タマブチ 玉縁	{ 他へ併除 bearl. wel- { ding / 加半露へ { welding 鋼保露ニ一 { 括決定ス
130	basic pig iron	エンキセイセンテツ 塩基性銑鐵		160	bead joint	マルメヂ 丸目地	
131	basic process	エンキセイホウ 塩基性法					
132	basic slag	エンキセイコウサイ 塩基性礦滓	{ 鐵滓 「ノロ」 { カラミ」預				

番 號	原 語	決 定	備 考	番 號	原 語	決 定	備 考
161	beader	フチマゲギ 縁器曲		190	bell buoy	カネウチ 鐘 打ブイ	
162	beak	ズネリ 水 切		191	bell crank	ベルクラック	土ハ削除
163	beam		{ 四ハ削除, 綱 { 括ヲ再編	192	bell metal	ベルメタル	
164	beam aerial		再 編	193	bell mouth	ラツパロ	
165	beam antenna	ビーム アンテナ		194	bell ringing trans- former	デンレイヨウヘンアツキ 電鈴用変圧器	
166	beam compass	サオ 竿 コンパス		195	bell trap	ワン 椀、トラツブ	
167	beam compasses			196	bellows	フイゴ	他ハ別
168	beam engine	テンビンキカン 天秤機關		197	belly	ロバ 炬腹	再編
169	beam hanger	アブミテツモノ 錠 鉄物		198	belly pipe	フキダシカン 吹出管	
170	beam system	ビーム式		199	belt	ベルト	
171	bear			200	belt conveyer	ベルトコンベヤ	{ 標, 船, 土ハ { conveyer
172	bearer			201	belt-driven	チヨウタイウンテン 調 帶運轉	
173	bearing	ジクウケホウイ 軸 受方位		202	belt punch	ベルト ポンチ	
174	bearing metal	ジクウケゴウケン 軸 受合金		203	belt vail		土, 削
175	bearing plate		{ 再編 base { plate	204	belt shifter	ベルト寄	土, 削
176	bearing pressure	シアツ 支 圧	土ノミ	205	belt tightener		
177	bearing strength			206	belting	ソウチ ベルト装置	
178	beat	ビート		207	bench		{ 各會全部異ナ { ルニツキ
179	beat frequency	ウナ シユウハスウ 唸リ周 波數, シユウハスウ ビート周波數		208	bench board	シハイバン 支配盤	
180	beat reception	ウナリジュシン 唸 受 信		209	bench drill		
181	beater	ビート受信		210	bench mark	スイジュンキヒョウ 水 準 基 標	
182	beating			211	bend	キョクカン 曲 管	
183	bed			212	bender	マ 曲 器	
184	bed coke	トコズミ 床積 コークス	cupola	213	bending		応 力
	coke	コークス		214	bending machine	マ 曲 機 械	
185	bed plate	ダイ ダイイタ 台, 台 板	器, 土ハ別	215	bending moment		応 力
186	bed rock			216	bending roll	マ 曲 ゲ ロール	{ 概, bending { roller (曲ゲロ { ル)
187	leech			217	bending stress		応 力
188	B eliminator	B エリミネーター		218	bending test		応 力
189	bell	ソウニウシヨウデンレイ 裝 入 鐘 電 鈴	{ 他ハ別トスル { 異入磁, 再考	219	bent		

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
220	bent aerial		19期 3/15	250	bilge shore	ハラシチユウ 腹支柱	
221	benzen	ベンゾール	{benzol ハ不 {純物ヲ云フ	251	bilge water		
222	benzine	ベンジン		252	bilge ways	スベリダイ 滑 台	
223	berth	ビヨウチ 錨 地	寝台, 別	253	billet	ショウコウヘン 小 鋼片	
224	beryl	リョクチウセキ 綠 柱 石		254	bimetattic wire	ソウキンゾクセン 双 金 屬 線	
225	beryllium	ベリリウム		255	bin		
226	bessemer converter	デンロ 轉 炉		256	binary alloy	ニゲンゴウキン 二 元 合 金	{複 binally- {alley
227	bessemer steel	デンロコウ 轉 炉 鋼		257	bind	バインド	土, 別
228	bevel			258	bind wire	バインド線	
	bevel angle	シヤカク 斜 角		259	binder	ケツゴウザイコバリ ケツゴウザイ 結 合 剤, 小 梁, 結 合 材	
229	bevel gear	カサハゲルマ 傘 齒 車		260	binding beam	コバリ 小 梁	
230	bevel protractor	カクドチヨウキ 角 度 定 規		261	binding material	ケツゴウザイ ケツゴウザイ 結 合 剤, 結 合 材	binderニ 合シ
231	bevel square			262	binding post	セツセンシ 接 線 子	
232	bevel wheel	カサゲルマ 傘 車		263	binding power	ケツゴウリョク 結 合 力	
233	beverage antenna	ビバレージ アンテナ		264	binding screw	セツセン 接 線 ネジ	
234	B-H curve	キョクセン B-H 曲 線		265	binding wire		
235	bias	ヘンシ 偏 倚		266	binnacle		
236	bias bell	ヘンドウデンレイ 偏 動 電 鈴		267	binocular	ソウガンキョウ 双 眼 鏡	
237	bias resistor	ヘンキテイコウキ 偏 倚 抵 抗 器		268	binocular micro- scope	ソウガンケンビキョウ 双 眼 顯 微 鏡	
238	bias voltage	ヘンキデンアツ 偏 倚 電 圧		269	biplane	フクヨウヒコウキ 複 葉 飛 行 機	
239	bibb	スイセン 水 栓		270	bipolar	ニキョク 二 極	
240	bibb cock			271	bipolar electrode	ニジュウデンキョク 二 重 電 極	
241	bichromate cell	ジュウ サンデンチ 重 クロム 酸 電 池			electrode	デンキョク 電 極	
242	bidet	ビデ		272	bipolar receiver	ニキョクジュウキ 二 極 受 話 器	
243	bifilar suspension	コホンツリ 二 本 吊		273	birch		
244	bifilar winding	ニホンマキ 二 本 捲		274	birmingham wire gauge		
245	bilateral antenna	ソウコウ 双 向 アンテナ		275	bisilicate	ニケイサンエン 二 硅 酸 塩	silicate
246	bilge		{船取門籍ニツ {キ創除ス	276	bismuth	ソウエン 銻 鉛	
247	bilge block	ハラバンキ 腹 盤 木		277	bit		
248	bilge keel			278	bit brace		
249	bilge pump	ビルジ ポンプ					



番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
279	bitt	クイチュウ 槳柱		308	blasting machine	ハツカキ 発火器	
280	bitumen	レキセイ 瀝青		309	blasting powder	ハツバカヤク 発破火薬	
281	bituminous coal	レキセイタン 瀝青炭		310	bleaching	ヒヨウハク 漂白	
282	black			311	bleaching powder	サラシコ 晒粉	
283	black body	コクタイ 黒体		312	bleeding		
284	black coal	コクタン 黒炭		313	blending		
285	black copper	ソドウ 粗銅		314	blind spot	フカンチ 不感地	照, ヤメ
286	black heat malte- able casting	コクシンカタンイモノ 黒心可鋳物		315	blister		
287	black lead	コクエン 黒鉛	graphite = 全ジ	316	blister copper		{black copper = 同ジ
288	black power	コクシヨクカヤク 黒色火薬		317	blister steel		現今用ヒズ
289	black sand	フルズナ 古砂		318	block	バンキ 盤木, ブロツ ク, 閉塞	{「セミ」ハ再購ヲ 要ス, 根柢丸木ハ 「ヘインク」 脚, 街廊ノ蓋リナ
290	black sheet	ウステツパン 薄鐵板		319	block brake	マクラ 枕ブレーキ	
291	blacksmith	カヅコウ 鍛冶工		320	block condenser	チクデンキ ブロック蓄電器	
292	black wash		再 閉	321	block indicator	ヘインクヒヨウジキ 閉塞表示器	
293	blade	ハ ハネ 刃, 羽根	兼, 別	322	block instrument	ヘインクキ 閉塞機	
294	blank charge	カラソウニユウ 空装入		323	block section	ヘインククカン 閉塞區間	
295	blast	バクハ 爆破	{blasting = 全ジ	324	block signal	ヘインクシンゴウキ 閉塞信號機	
296	blast air		調 査	325	block station	シンゴウジヤウ 信號場	
297	blast box	カザバコ 風箱		326	block system	{ヘインクシキ 閉塞式, (鉄)斷續式, 街 カクシキ 廊式	ギンゾクシキガイ
298	blast furnace	ヨウコウロ 熔鉄炉		327	blocking		
299	blast furnace gas	ヨウコウロ 熔鉄炉ガス		328	bloom	コウヘン 鋼片	billet =同ジ
	gas	ガス		329	blooming mill	ブンカイロウジヨウ {分塊工場, ブンカイアツエンキ 分塊壓延機}	cogging mill
300	blast furnace slag cement	コウロ 高炉セメント		330	blow	ヨウカイ 熔解	電ノミトス
301	blast main	ソウフウシユカン 送風主管		331	blow hole	キコウ 気孔	{air-bubble 方氣泡 ナルヨリ
302	blast nozzle	ファンシャグチ 噴射口		332	blowpipe	スイカン 吹管	
303	blast pipe			333	blowpipe analysis	スイカンブンセキ 吹管分析	
304	blast pressure	ファンシャアツ 噴射圧		334	blowpipe welding	スイカンヨウセツ 吹管熔接	
305	blasting		blast =同ジ	335	blow torch	トーチ ランプ	
306	blasting cap	ライカン 雷管		336	blower	ソウフウキ 送風機	
307	blasting gelatine	ブラスチング ゼラチン					

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
337	blowing engine	ソウフウキカン 送風機關		367	bog		
338	blowing-in			368	bog iron ore	ヌマテツコウ 沼鐵鐵	
339	blowing-out			369	bogie	ボギー	
340	blown out shot	クウハツ 空砲		370	bogie car	ボギー車 <sup>シヤ</sup>	
341	blow off cock	フキダシ 吹出コック		371	bogie truck		
342	blow off valve	フキダシベン 吹出弁		372	boiled oil	ユ ボイル油	
343	blowout	フキケシ 吹消	土ハ別	373	boiler	カマ 罐	
344	blowout coil				steam boiler	ジヨウキガマ 蒸氣罐	
345	blowout magnet	フキケシジシヤク 吹消磁石		374	boiler bearer		{ 機器車等ハ板ナルコ トアリ、台トヘ云ヘ ス }
346	blue heat	セイネツ 青熱		375	boiler fittings	フマフツクダ 罐附屬具	{ boiler fitting = 全ツ }
347	blue powder	アエンマツ 亞鉛末		376	boiler lagging	カマガイヒ 罐外被	
348	blue print	アオシヤシン 青寫眞			lagging	ガイヒ 外被	
349	blue shortness	セイネツセイセイ 青熱脆性		377	boiler mountings		{ boiler fitting = 全ツ }
350	blue vitriol			378	boiler plate	カマイタ 罐板	
351	board			379	boiler pressure	カマアツ 罐圧	
352	boarding	イダバリ 板張		380	boiler room	カマシツ 罐室	
353	boasting	アラコダダキ 荒小叩		381	boiler shell	カマドウ 罐胴	
354	boat	ダンテイ 端艇		382	boiler shop	セイカンコウジヨウ 製罐工場	
355	boat hook	カギサオ 釣竿		383	boiler tube	カマクダ 罐管	
356	boat house	テイコ 艇庫		384	boiling		化、火、別
357	boat seaplane	ヒコウテイ 飛行艇		385	boiling period	フツウキ 沸騰期	
358	bob	サゲフリ 下振	板ハ別	386	boiling point	フツテン 沸點	
359	bobbin			387	bollard		bitt = 全ツ
360	body			388	bolometer	ボロメータ	
361	body bolster			389	bolster		
362	body capacity	シンダイヨウリヨウ 身体容量		390	bolster-spring		
363	body centered cubic lattice	ダイシンリツボウカウシ 体心立方格子			spring	バネ	
364	body plan			391	bolt	ボルト	{ volt ハ「ダルト」 トス }
365	body post			392	bolt cutter		
366	body varnish	ボデイワニス		393	bolt die		

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
394	bolt head	ボルト頭 <small>アマモ</small>		425	bottom		
395	bomb	ボンブ (瓦斯容器) <small>{ 爆雷ボス取替法, 火へ別 }</small>		426	bottom board		
396	bombardment	シヤトツ 射突		427	bottom casting	シヤツキチウゾウ 下注鑄造	
397	bomb calorimeter	ボンブ熱量計 <small>ネツリヨウケイ</small>		428	bottom plank		
398	bond	ボンド	電風外へ別	429	bottom plate		
399	bond strength		応力	430	bottom rail		
400	bond stress		応力	431	bottoming		化ナメ
401	bond tester	ボンド試験器 <small>シケンキ</small>		432	boucherising	リウサンドウチウニウ 硫酸銅注入	
402	bone ash	コツバイ 骨灰		433	bougie decimale		例 照
403	bone black	コツマン 骨炭		434	boulder		
404	bonnet			435	boulevard		
405	booking office			436	bound charge	ケンソクデンカ 牽束電荷	
406	boom			437	bow		
407	booster	シヨウアツキ 昇圧機[電]	火へ別	438	bow collector	キウジヨウシウデンシ 弓状聚電子	
408	borate	ホウサンエン 硼酸塩		439	bow compasses	バナコンパス { Spring com- passes ト全ソ	
409	borax	ホウサ 硼砂		440	bower	シユビヨウ 主 錨	
410	border			441	bower anchor		
411	bore	コウケイ 口径		442	bowl		
412	bore hole	センコウ 穿孔		443	bowsprit		
413	boric acid	ホウサン 硼酸		444	box		
414	boring	ナカ 中ゲリ, ボーリング, 穿孔 <small>センコウ</small>		445	box beam		応力
415	boring bar	ナカ 中ゲリ棒 <small>ボウ</small>		446	box car	ユウガイカシヤ ヌウガイシヤ 有蓋貨車, 有蓋車	
416	boring machine	ナカ 中ゲリ盤 <small>バン</small>		447	box coupling	サヤツキテ 轆接手	
417	boring tool			448	box girder		応力
418	bornite	ハンドウコウ 斑銅鏡		449	box moulding	ワクセイガタ 枠製型	
419	boron	ホウソ 硼素		450	box spanner	ハコ 箱スパナ	
420	borrowed light	カンセツコウ 間接光		451	brace	スヂチガイ 筋 違	
421	bosh	アサガオ		452	bracket	ブラケット	
422	boshes	朝顔	ロフク bellr 架 腹	453	bracket arm		
423	boss	ボス		454	bracket suspension	ウマガネチウカ 腕金吊架	
424	bottle			455	braid	ヘンソ 編組	

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
456	braided wire	ヘンソセン 編組線		487	break down	ヘカイ 破壊	
457	braider	ヘンソキ 編組機		488	break down test	タイリヨクシケン 耐力試験	
458	braiding	ヘンソ 編組		489	break-in key	ダンニウマンケン 断入電鍵	
459	braiding machine	ヘンソキ 編組機		490	break joint		再開スルコト
460	brake	ブレーキ		491	break water		
461	brake band	ブレーキ <sup>オビ</sup> 帯		492	breaker		
462	brake beam	ブレーキ <sup>バリ</sup> 梁		493	breaking		
463	brake block	ブレーキ <sup>マクラ</sup> 枕		494	breaking joint	ヘメジ 破目地	
464	brake cylinder	ブレーキ <sup>ウ</sup> 筒		495	breaking load		応力學用語
465	brake disc	ブレーキ <sup>パン</sup> 盤		496	breaking strength		応力學用語
466	brake drum	ブレーキ <sup>ドウ</sup> 胴		497	breaking stress		応力學用語
467	brake gear		brake = ゼツ	498	breaking test		応力學用語
468	brake horse power	セイドウバリキ 制動馬力		499	breaking weight		応力學用語
469	brake lever	ブレーキテコ		500	breaming		
470	brake rod	ブレーキ <sup>キウ</sup> 棒		501	breast		
471	brake shaft	ブレーキ <sup>ジク</sup> 軸		502	breast band		
472	brake shoe	ブレーキ <sup>クツ</sup> 靴		503	breast beam		
473	brake van	カンキウウシヤ 緩急車		504	breast drill	ムナアテキリ 胸当鉋	
474	branch			505	breast rail		
475	branch box	ブンキバコ 分岐箱		506	breast telephone	ムナカケデンワキ 胸掛電話機	
476	branch circuit	ブンキカイロ 分岐回路		507	breast wheel		
477	branch line	ブンキセンロ 分岐線路(電)		508	breast work		
478	branch pipe	エゼカン 枝管		509	breccia	カクレキガン 角礫岩	
479	branching switch board	ヘイレツフクシキコウカンキ 並列復式交換機		510	breech		
480	brand			511	breeze		
481	brass	オウドウ 黄銅		512	brick	レンガ 煉瓦	
482	brass pipe	オウドウカン 黄銅管		513	brick layer	レンガコウ 煉瓦工	
483	brattice			514	brick laying	レンガズミ 煉瓦積	略 詞
484	braun tube	ブラウ <sup>カン</sup> 管		515	brick nogging		
485	brazing	カダロウツケ 硬鋸付		516	brick work	レンガズミ 煉瓦積	
486	break			517	bridge		

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
518	bridge crane	ハシガタ 橋形クレーン		547	bromide	シユウカブツ 臭化物	
	crane	クレーン		548	bromine	シユウソ 臭素	
519	bridge duplex	キョウラクニジュウホウ 橋絡二重法		549	bronze	セイドウ 青銅	
520	bridge megger	ブリツヂ メツガー		550	brooder		
521	bridge method	キョウラクホウ 橋絡法		551	brown and sharp wire gauge	センバンゴウ ビーエス線番號	
522	bridge piece			552	brown coal	カツタン 褐炭	
523	bridging	キリバリフリダメ 切張振止		553	brown iron ore	カツテツコウ 褐鐵礦	
524	bridging condenser	キョウラクチクデンキ 橋絡蓄電器		554	brush	カツシ 刷子(電)刷毛	電氣再考
525	bridging multiple switchboard	ヘイレツフクシキコウカンキ 並列複式交換機		555	brush discharge	ボウコウホツデン 芒光放電	
526	bright emitter	ハクネツシクウカン 白熱真空管		556	brush holder	カツシホジキ 刷子保持器	
527	brightening		化ヤメ	557	B. S. G.	センバンゴウ ビーエス線番號	
528	brightness	キド 輝度		558	B. T. U.		
529	brine	エンスイ 塩水	{salt water =全シ	559	british thermal unit		
530	brine cooler	エンスイレイキヤクキ 鹽水冷却器		560	B.T. U. (british ther- mal unit)	エイネツタンイ 英熱單位 (B.T.U.)	
531	brine pump pump	エンスイ 鹽水ポンプ ポンプ		561	B.T.U. (british ther- mal unit)		
532	brine system	エンスイシキ 鹽水式		562	bubbling	ハツポー 發泡	
533	brine tank	エンスイ 鹽水タンク		563	bucket		
534	brinell hardness	コウ 硬サ		564	bucket conveyor	バケツ コンベヤー	
535	briquette	レンタン 煉炭		565	bucket dredger	シユンセツキ {バケツ浚渫機, シユンセツセン バケツ浚渫船	
536	briquetting			566	bucket elevator	バケツ エレベーター	
537	britannia joint	セツゾク ブリタニヤ接続		567	bucket pump	バケツ ポンプ	
538	brittleness	セイセイ 脆性		568	buckle		
539	breach			569	buckling		応力形用語
540	broadcasting	ホウソウ 放送		570	buffer	カソシヨウキ 緩衝器	
541	broadcasting frequency	ホウソウシユウハスウ 放送周波數		571	buffer action	カンシヨウサヨウ 緩衝作用	
542	broadcasting station	ホウソウキョク 放送局, 放送所		572	buffer beam	カンシヨウバリ 緩衝梁	
543	broadcasting trans- mitting station	ホウソウジヨ 放送所, 放送局		573	buffer spring	カンシヨウ 緩衝バネ	
544	broadside antenna	ブロードサイド アンテナ		574	buffer		
545	broad tuning	ドンドウチニウ 鈍同調, 鈍合調		575	builder		
546	broken circuit	ダンロ 断路		576	building	ケンチクブツ 建築物, 建物	

番號	原 語	決 定	備考	番號	原 語	決 定	備考
577	building act			607	burr	マクレ	
578	building construction	ケンチクコウゾウ 建築構造		608	buried antenna	マイセツ 埋設アンテナ	
579	building material	ケンチクザイリヨウ 建築材料		609	bursting	ハレツアツ	
580	building slip	ソウセンダイ 造船台		610	bursting pressure	破裂圧	
581	building stone			611	bus bar	ボセン 母線	
582	built up beam		筋力	612	bus line	ボセン 母線	
583	built up crank	クミダテ 組立クランク		613	bush	ブッシュ	
584	bulb			614	bush hammer	ビシヤン	
585	bulging	フレガシ 膨出		615	bushing	トウカン 套管(電)	
586	bulk cargo	ツミカモツ バラ積貨物		616	bustle pipe		
587	bulk head	カクヘキ 隔壁		617	busy-back signal	ハナシチュウシンゴウ 話中信號	
588	bulk modulus		応力学用語	618	busy-back tone	ハナシチュウオン 話中音	
589	bull's eye			619	busy test	ハナシチュウケン 話中試験	
590	bumper	アダドメ 当り止(便器ノ)		620	butt		
591	bundle			621	butt joint	ツキアワセツキテ 突合接手	電ハ研
592	bunker	ネンリヨウコ 燃料庫		622	butt strap	メイダ 目板	
	oil bunker	ユウコ 油庫		623	butt weld	ツキアワセダシセツ 突合鍛接	{weldニハ接 接ト氣接トア ル
	coal bunker	タンコ 炭庫		624	butt welding	ツキアワセヨウセツ 突合熔接	
593	bunker coal			625	butterfly valve	チョウガタベン 蝶形弁	
594	bunsen burner	ブンゼンバーナー		626	buttress	フヘキ 扶壁	保壁
595	bunsen cell	ブンゼン電池		627	buzzer	ブザー	
596	buoy	ブイ		628	buzzer excitation	ブザー レイシン 勵振	
597	buoy rope	ブイ索		629	buzzer modulation	ブザー ヘンチョウ 變調	
598	buoyancy	ウリョク 浮力		630	buzzer wavemeter	ブザー デンパケイ 電波計	
599	burden		再 册	631	buzzing	ホウメイ 蜂鳴	
600	burette	ビュレット		632	B. W. G.	バーミンガム線 センパンゴウ 線番號	
601	burglar alarm	トウナシケイホウキ 盜難警報機		633	by-pass		
602	burn-out life		保 留	634	by-path	ソクロ 側路	土ハ臣
603	burner	バーナ		635	by-pass condenser	ソクロテクデンキ 側路蓄電器	
604	burnetizing	エンカアエンチュウニウ 塩化亞鉛注入	鋼ハキメ	636	by-path pipe	ソクロカン 側路管	
605	burning			637	by-path valve	ソクロベン 側路弁	
606	burnt sienna	ダイシヤ 代赭		638	by-product	フクサンブツ 副産物	電ハ研

## 雑誌閲覽に就ての會告

下記の雑誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は下記時間内御随意に御閲覽相成度候。

### 閲 覽 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午後一時至同四時、其他自午後四時至同八時。

但し役員會、委員會等開催の日は御斷り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置被下度候。

### 備 付 雜 誌

衛生工業協會誌	國際 築 建 時 論
機 械 學 會 誌	造 船 協 會 々 報
業務研究資料 (鐵道大臣官房研究所)	帝 國 鐵 道 協 會 々 報
建 設	鐵 道 鋼
建 築 雜 誌	電 氣 學 會 誌
工 學 部 紀 要 (東大, 京大, 九大)	電 氣 製 鋼
工 學 報 告 (東北帝大)	土 木 建 築 雜 誌
工業化學雜誌	日 立 評 論
工 事 畫 報	名 古 屋 工 業 會 々 報
工 政	滿 洲 技 術 協 會 誌
港 灣	其 他 寄 贈 雜 誌

廣 告 料 (東京市京橋區築地上柳原町八番地 東京第一通信社取扱)  
電話京橋 872 番 振替東京 3069 番

普通廣告 一回一頁 40 圓 一回半頁 25 圓

指定廣告	裏表紙三面對向 及廣告初頁	一回一頁 60 圓
	裏表紙三面	一回一頁 150 圓
	色アート	一回一頁 75 圓

○指定廣告は凡て一箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす

○會員自身の廣告に對しては總て上記料金の一割引とす

○同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分五分引、一箇年分一割引とす

○廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす